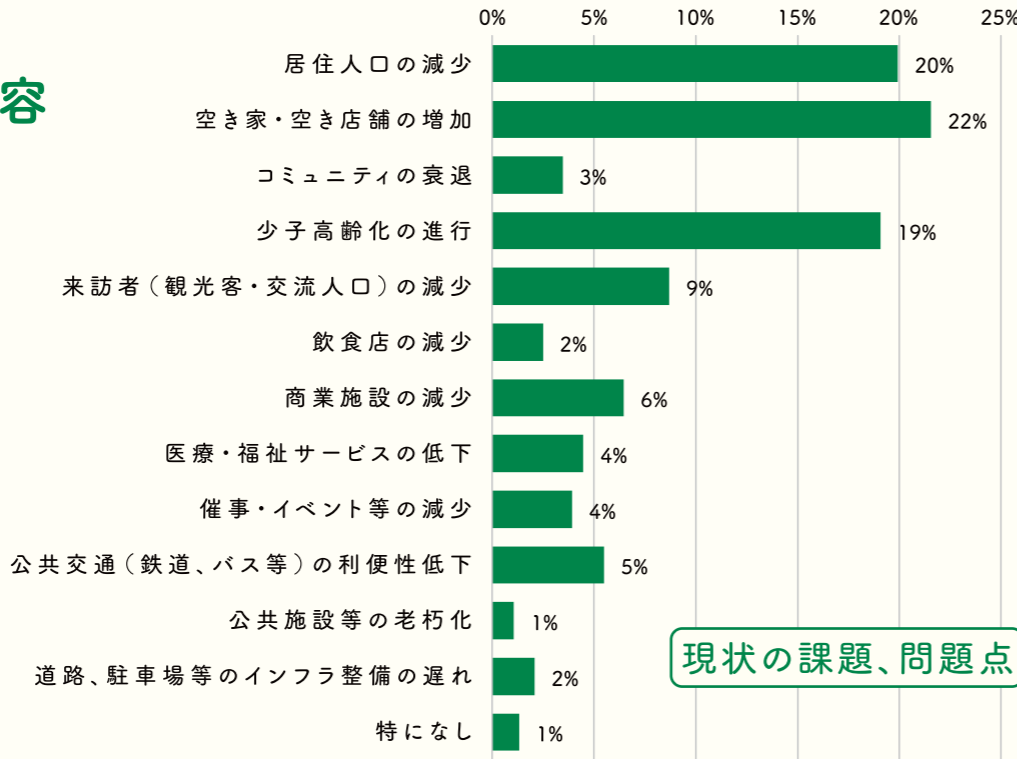


事業スケジュール

年度	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	2026(令和8)	2027(令和9)
つどいの場の創出 下仁田駅周辺	事業検討・事業化		整備		
街なか拠点整備 こんにやく体験道場周辺	事業検討・事業化		整備		
	【検討事項】施設機能・規模、運営方法ほか				
居住空間等の整備 空き家、子育て支援対策の強化	遊休不動産調査・空き家バンクの充実、マッチング支援体制の強化				
	子育て支援の強化、見直し				
地域人材の育成 特色ある地域探究 地域活動団体支援	実施体制検討	地域探究活動の開始			
	地域で活動する人材・団体の育成、支援体制の強化				
新たなビジネスの創出	起業支援制度検討、起業支援策の強化				
	イノベーションコンテストの開催、地元特産品を活用した商品開発				
戦略的な情報発信 シビックプライド醸成 SNS等による情報発信	企画検討	地域資源を活用したシティプロモーション			
	SNS等を活用した情報発信、フィルムコミッション活動				

【参考】これまでの取組内容

町民アンケート調査結果(一例)
回答数: 773名



現状の課題、問題点

検討委員会、分科会



分科会



高校生ワークショップ



地域住民への個別ヒアリング



下仁田町街なか活性化事業基本計画

SHIMONITA

みんなで作る
街なかの姿

2023
04



Illustr: Mami Sato

下仁田町

www.town.shimonita.lg.jp

これまでの検討経過は町HPからも確認できます

下仁田町街なか活性化計画



■ 計画の概要

人口減少や少子高齢化が進行する状況下においても、持続可能なまちづくりを実施するため、本計画では、町民や町に通う高校生、関係者などの生の声を積みあげ、“街なかが目指すべき姿”とそれを“実現するために必要な取組み”をまとめました。



対象範囲（下仁田駅から徒歩5分圏内を想定）

■ 現在の街なかの状況

町内在住者2,000名を対象にアンケート調査を実施しました（回答数：773名）。その結果、まちがコンパクトにまとまっており、生活する上で便利な反面、居住できる場所や子ども達が遊べる場所が少なく、新たなヒト・モノが入りにくいなどの課題が浮き彫りになってきました。

● 良いと感じる点

- コンパクトにまとまったまち
- 徒歩圏内にスーパー、病院、薬局、駅があり、生活するのに便利
- 行列のできる飲食店が多い
- 昭和レトロの雰囲気を持った建物が残っている（下仁田駅ほか）
- 昔からのお祭りが残っている

▲ 課題に感じる点

- 空き家・空き店舗が増加している
- 居住できる場所が少ない
- 高齢化が進んでいる
- 地域コミュニティの維持が大変
- 土日と平日で人通りが大きく異なる
- 就業場所が少ない
- 子ども達が遊ぶ公園が近くにない

※アンケート調査を補足するために実施した町民との意見交換で出た意見を含む

■ 目指すべき街なかの姿

検討にあたり、地域住民や有識者から構成される①検討委員会・分科会において各種検討を進めたほか、活性化に向けた提案や意見を聞くため、②下仁田高校3年生とのワークショップ、③地域住民への個別ヒアリングを行いました。

街なかの目指すべき姿

街なかに 暮らす人、来る人、関わる人
みんなが“ワクワク”する気持ちを持って過ごせる空間を創出する。

■ 事業コンセプトと取組内容

目指すべき姿を実現するため、3つの輪「つどう・つながる・つくりだす」街なかをコンセプトに掲げ、次に示す取組みを進めていきます。

CONCEPT

つどう つながる つくりだす 街なか

世代を超えて 一歩踏み出す あなたを 応援するまち

■ 取組内容

つどう

街なかに
人がつどい
自分ゴトとして
地域を考える

■ つどいの場の創出【下仁田駅周辺】

情報拠点（地域資源、観光案内等）、読書スペースやカフェ等のくつろぎの空間、地域住民や高校生の憩いの場の整備 ほか

■ 街なかの拠点整備【こんにゃく体験道場周辺】

芝生広場、マルシェスペース、シェアキッチン、カルチャースペース、地元特産品の販売スペースの整備 ほか

つながる

人と人が繋がり
連携した
新たな取組みが
始まる

■ 居住空間等の整備

遊休不動産の実態把握、空き家バンクの充実、マッチング支援体制の強化、空き家対策支援、子育て支援の強化 ほか

■ 地域人材の育成

地域で活動する人材、団体の育成、特色のある「地域探究」活動（教育機関との連携）、地域活動団体への支援 ほか

つくりだす

地域の
ヒト・モノ・経済の
好循環を
つくりだす

■ 新たなビジネスの創出

起業支援制度の設立、地元特産品を活用した商品開発、イノベーションコンテストの開催 ほか

■ 地域資源を活用した戦略的な情報発信

シティプロモーション、シビック・プライドの醸成、フィルムコミッション活動、SNS等を活用した情報発信 ほか

POINT!

住民、事業者・金融機関、教育機関、行政など、地域に関わる人々が連携し、それぞれの強みを活かして、街なかの活性化に向けた各種取組みを進めていきます。